

1 本校の学力向上にかかる課題（H29）と改善された課題

○国語科

- ・目的に応じて文章の中から必要な情報を読み取った、登場人物の相互の関係や心情、場面についての描写を捉えることに課題がある。

○算数科

- ・基礎・基本は定着しているが、生活場面に活用したり、示された式の意味を理解し関連付けながら正しく解釈しそれを記述したり説明したりすることに課題がある。

○学習状況調査

- ・自分の考えをわかりやすく伝えるように表現したり、人の話を最後まで聞いたりすることが苦手である。

【改善された課題】

- ・様々な考えを聞き合うことで目的や意図に応じて、作者の考えを理解しようとする力が身に付いてきた。
- ・家庭での読書量は少ないが、学力を支える基盤の学習状況や生活習慣が良好な状況である。
- ・様々な方法、考えを出し合う授業を通して、なぜを追求し、解答に結びつけるようになってきた。

2 本校の学力向上目標

「学校の授業がよくわかる」

H29.6月 94%→12月 92%

1 学力向上のための授業改善（校内研究）

2 学びの習慣づくり（校内研究）

3 読書活動の充実

4 学びの土台づくり（校内研修）

3, 本年度の具体的方策

① 学力向上のための授業改善

主体的な学びを促す授業展開の工夫 ⇒ こうか授業術「5箇条」の具体化

- こうか授業術「5箇条」に基づく問題解決型の学習過程と質の高い学び合いがある授業展開
- 学習意欲を喚起し、学ぶ目的を持たせる課題や発問、教材の工夫
- 思考の過程がわかる板書計画と考えのつまった「つくるノート」指導
- 予習を生かした授業
- 基礎基本の内容の習得…各教科の基礎基本を明らかにした指導法の確立  
各教科において「読む・書く・話す」を意識した授業改善

② 学びの習慣づくり

- 学習習慣の確立…学習規律の定着…「忍法大原っ子学習ルール」
- 学習環境の整備…さんすうひろば ノート展示
- 言語活動の充実…詩や名文の朗読（ことのはタイムの新設・国語科）
- 家庭との連携による家庭学習…「予習・復習」の充実 「学年×10分」の家庭学習 「ララー忍グ」  
「学びのすすめ」の活用…調べたり文章を書いたりする家庭学習
- 発表・発信の場の設定…全校集会、朝・昼の校内放送の活用

③ 読書活動の充実

- 『忍法読書カード』の活用
- 「おすすめの本」紹介・図書委員会による読書集会
- 読み聞かせ・図書ボランティア活動などによる読書活動の推進

一日あたりの読書時間 30分未満 77.5%  
(県 65.5%国 63.4%)

④ 学びの土台づくり

- 児童に考えさせる場づくり…子どもが主役の特別活動
- 認め合える学級風土づくりのためのソーシャルスキル教育等実践（自尊感情の高揚）・人権の日
- 学力アップ補強（学びの確認教室 夏季休業中）

学校に行くのは楽しい 93.6%  
自分には良いところがある 90.4%

4 学力向上の検証（評価および方法）

- 学校評価アンケート（7, 12月）
- 学習状況・生活状況調査（7, 12月）
- 全国学力・学習状況調査 ■市学びの確認（4/5年）
- 県算数学力調査（2月）
- 授業研究 評価規準をもとにした指導と評価

5 学力向上策の検証

全国学力・学習状況調査などの結果を参考に検証 「学力向上策の再策定」（H31年2月）次年度に向けて